

ASHRAE ガイドライン 0-2005  
「性能検証過程 (The Commissioning Process)」  
による用語の定義

#### 4. 定義

**認可(Acceptance)** : 適切な権威を有する個人(契約的に定義されていなくても) による公的な行動であって、プロジェクトの状況が規定された要件に適合していることを宣言すること、そして次の活動に進むことが許されること。

**設計根拠(Basis of Design)** : コンセプト、計算、決定および企画・設計要件書に適合し、適用される法規的な要件、標準および指針を満足するために使用する製品の選択を記録した文書。この文書は説明的記述と設計プロセスをサポートする各項目のリストの両者を含む。

**チェックリスト(Checklists)** : 性能検証過程の全てのフェーズ間で企画・設計要件書が達成されつつあることを確認するために開発され使用される確認チェックリスト。これには全般確認に加えて、試験、訓練および他の特定要求に対するチェックリストが含まれる。

**性能検証(Commissioning)** : 性能検証過程参照

**性能検証責任者(Commissioning Authority)** : 所有者により特定され、性能検証過程を実行するために性能検証チームを指揮、計画、予定化および調整するもの。

**性能検証計画書(Commissioning Plan)** : 組織、予定、資源の分配および性能検証過程の文書化要件を概括した文書。

**性能検証過程(Commissioning Process)** : プロジェクトを推進するために品質に焦点を絞ったプロセス。本プロセスは設備および全てのシステムとアッセンブリーが企画・設計要件書に適合するように計画、設計、設置、試験、運転および保守されていることを確認し文書化することに焦点を絞る。

**性能検証過程活動(Commissioning Process Activities)** : 性能検証過程の内容。

**性能検証経過報告書(Commissioning Process Progress Report)** : 性能検証過程の部分として完了した活動およびこれらの活動から得られる重大な知見の詳細を記した文書で、プロジェクトの工程において継続的に更新される。通常、性能検証計画書に継続的な付属書類として組みこまれる。

**性能検証報告書(Commissioning Process Report)** : 性能検証過程の活動と結果を記録した文書。通常、最終性能検証計画書とそのすべての付属文書から作られる。

**性能検証チーム(Commissioning Team)** : 協調活動を通じて性能検証過程の実施に責任を負う人々。

**施工チェックリスト(Construction Checklist)** : 適切な部品が現場に到着し、設置の準備が済み、正しく設置され、機能していることを確認するために、工事請負者によって使用される書式。チェックリストも同時に参照。

**建設図書(Construction Documents)** : これは広範囲の文書を含み、プロジェクトごと、また所有者の必要性と規制、法規および国によって変わる。建設図書は通常プロジェクトマニュアル(仕様)、計画(図面) および一般的約定と契約条件を含んでいる。

**継続性能検証過程(Continuous Commissioning Process)** : プロジェクトが現状および今後生ずるであろう所有者の要求に適合し続けていることを確認するための運転フェーズにおける性能検証過程。継続性能検証過程の活動は設備の寿命の間継続する。進行中性能検証過程も同時に参照のこと。

**契約図書(Contract Documents)**：これは広範囲の文書を含み、プロジェクトごと、また所有者の必要性と規制、法規および国によって変わる。契約図書はしばしば価格の合意、施工管理プロセス、下請け契約または要求、提出物に対する要求と手順、変更と他の施工要求、完成へのスケジュールおよび建設図書を含んでいる。

**調整図書(Coordination Drawings)**：機器の性能または保守および交換のためのアクセスを阻害することなく機器が設置されうることを示した図面。これらの図面は写實的に描かれ製造者の推奨保守スペースの大きさを示す。

**情報連絡書(Issue Log)**：性能検証過程の工程に於いて性能検証チームの構成員により提唱された課題または懸案事項—およびその解決策—の公式かつ進行中の記録。

**ノミナルグループ技法(Nominal Group Technique)**：短時間で多くの観点から最大限に順位付けした意見を得るために使用する公式の体系立ったブレインストーミングのプロセス。典型的な方法は、一つの検討作業にみられるもので、そこでは質問が提起され、出席者は各自の答えを紙に書き、各自の答えは議論することなくフリップチャートに記録され、それを見ながら全ての答えが検討され、その後出席者がそれらの答え上位 5 ヶを順位付けするといったもの。

**進行中性能検証過程(On-going Commissioning Process)**：プロジェクトが現状および今後生ずるであろう所有者の要求に適合し続けていることを確認するための運転フェーズにおける性能検証過程。進行中性能検証過程の活動は設備の寿命を通じて行われる；これらのいくつかは、実行においてほとんど途切れがなく、また別の形では計画的にまたは計画無しに（必要に応じ）行われる。**継続性能検証過程**もまた参照のこと。

**企画・設計要件書(Owner's Project Requirements)**：プロジェクトの機能的要求とそれがどのように使われ運転される予定であるかを記述した文書。この文書はプロジェクトの目標と測定可能な性能基準、コストに関する配慮、ベンチマーク、成功の基準および支援情報を含んでいる。（プロジェクトの意向という用語は、ある所有者によっては性能検証過程において企画・設計要件書として使用される。）

**品質基準サンプリング(Quality Based Sampling)**：全母集団のサブセット(サンプル)評価のプロセス。サンプルは、既知または推定された期待値の確率分布；同様の製品、アッセンブリーまたはシステムからのデータに基づく仮定された統計的分布；または科学的な統計基準を有する無作為抽出に基づく。1,2,3

**再性能検証(Re-Commissioning)**：性能検証過程を用いて引き渡されたプロジェクトに対する性能検証過程。これは**進行中性能検証過程**の部分として立案されることもあり、使用目的の変化、運転上の問題またはその他のニーズが引き金となりうることもある。

**復性能検証(Retro-Commissioning)**：以前に検証されていない既存設備に適用する性能検証過程。この指針では復性能検証には特別に言及しない。しかしながら、同じような基本プロセスが、企画から運転までわたる性能検証過程の哲学と実務の実行による効果を最適化するために必要である。

**システムマニュアル(System Manual)**：システムに焦点をあてた複合文書で、運転マニュアル、保守マニュアルおよび運転フェーズにおける所有者への追加の利用情報を含む。

**試験手順(Test Procedure)**：方法と要員ならびに、部品、機器、アッセンブリー、システムおよびシステム間のインターフェースに関して行なわれる試験に対する予測を規定し文書化した試験計画案。

**訓練計画(Training Plan)**：プロジェクトの運転・保守要員、使用者、入居者の訓練に関する、目的、スケジュール、予算ならびに性能検証過程活動の成果の詳細を記した文書。

**確認(Verification)**：特定の文書、部品、機器、アッセンブリー、システムおよびシステム間のインターフェースが企画・設計要件書に記述されている基準に適合していることを確

認するプロセス。